



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5. Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：より良い明日のために今日を築く
アジア太平洋会長主題：アクション
東日本区理事主題：勇気ある変革、愛ある行動！
あずさ部長主題：あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために！
甲府クラブ会長主題：心機一転、ふみだそう新しい一歩！

Jennifer Jones(オーストラリア)
田中 博之(東京多摩みなみ)
山田 敏明(十勝)
赤羽 美栄子(松本)
標 克明

甲府ワイズメンズクラブ

2019 7月会報

●今月の強調目標

(YMCAサービス・ASF・RBM)

■今月のことば■

「彼らは剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。」

(旧約聖書ミカ4：3) 大澤 英二会員選

今月の例会案内 キックオフ例会

日時：2019年7月9日(火) 18:45～20:45

会場：談露館

担当：役員会

司会：荒川洋一 君

あずさ部 赤羽 美栄子部長(松本) 公式訪問

プログラム

- ・開会の点鐘 P・マウントフォード 直前会長
- ・ワイズソング・ワイズソングの信条
- ・会長引継ぎ・バッチ交換
- ・新会長挨拶 標 克明会長
- ・ゲスト紹介
- ・あずさ部長挨拶 赤羽 美栄子部長
- ・ワイズディナー

総会

【第1部】 議長 P・マウントフォード 直前会長
会計報告・基金会計報告・監査報告、褒賞 他

【第2部】 議長 標 克明会長
新年度事業計画、予算案審議、他

- ・70周年記念事業委員会
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・諸報告
- ・YMCAの歌
- ・閉会の点鐘 標 克明会長

6月のデータ

会員数	35名	ニコニコボックス 7,134円
内広義会員	1名	例会出席率 62%
例会出席会員	21名	メーキャップ 4名
メネット	1名	(石川(和)、標、済本、山崎)

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

心機一転、ふみだそう新しい一歩！

会長 標 克明

今期の会長の主題を決めるにあたり、甲府クラブ設立70年の節目の年と山梨YMCA新館設立ということがありました。この70周年を期に、今甲府クラブが何をしなければならぬか考えて、行動しなければならぬ時と考えています。

特に『70周年記念事業委員会』が中心となって行う事業は会員全員が意見を出し合い、できる事をして皆が参加して成功させたいと思っています。

次に新しい試みとして、会長他のクラブ役員を選び方を考えてみたいと思います。例年この役員選考に悩まされ、選考委員会で話し合いはするものの、決まらずその選考委員会の責任で役員を仰せつかることになっています。皆さんの意見も参考にして、何かいい方法を考えて、選考のあり方を変えたいと思います。

ピーター前会長もクラブ会員全員で運営ができるように考えて1年間クラブ活動の先頭にたってくれました。

今期は70周年と山梨YMCA新築移転というまたとない事業があります。これを機会にしてみんなで意見を出して話し合いをもちながら2回目の会長を1年頑張って行こうと思います。皆様のご協力をお願いします。

今年は、7月13日(土)に甲府で第1回あずさ部評議会、7月17日(水)に台南クラブ来甲歓迎会、8月19日(月)には恒例のYMCAふくろうキャンプがもう始まります。参加して、考えて、意見をだして、新しい一歩を踏み出しましょう。

6 月例会報告

秋山 仁博

6 月 11 日 (火) ホテル「談露館」にて定刻に渡辺徳之会員の司会により今年度の最終例会が開催されました。

今月の言葉は石川和弘会員が選んだ、フランス共和国の「自由・平等・博愛」が紹介されました。次に、ピーター会長よりの挨拶があり、過日開催された基金運営委員会の報告として、甲府クラブが YMCA 新会館建設への寄付金として一括で金 30 万円の拠出を決定した事が報告されました。

次に、6 月 1 日～2 日に開催された第 22 回東日本区大会 (前号で既報) での奈良傳賞を受賞した大澤会員から挨拶があり、昭和 30 年代に奈良様ご本人に逢われて、YMCA の主事としての大切な役割について、ご教授を受けた事などを懐かしい思い出として話して頂き、最後に個人が受賞したと言うよりも甲府クラブが頂いたものとして、会員全員が喜んで頂きたいし、全員に感謝したいとの気持ちを話されました。尚、東日本区大会は、「情報交換・啓発・連帯と推進」が目的とされ、今年度 (2020 年 6 月) は十勝で、次年度は甲府 21 クラブが立候補し、決定されました。メモリアルアワーでの故平原会員が紹介された写真が投影され、思わず胸を突き上げる思いがありました。

本年最後の 4 委員会報告として、各委員長より、今年度実施した事業の様子を、日付順に細かく報告発表されました。

山梨 YMCA の露木主事より 6 月 8 日 (土) 開催されたチャリティーランの報告があり、晴天に恵まれ会員の奉仕により成功裏に終了出来たことが報告され、最終 51 チームのエントリーがあり、昨年まで代走依頼に、困難を極めたが、本年はスムーズに運営出来たとの報告があり、6 月 13 日に反省会を開催しますので、都合のつく方はご出席をお願いする事と、今後さらなる山梨 YMCA への絶大なる協力を依頼されました。最後に 6 月 25 日の役員会は、新旧の役員合同で実施しますとの事です。

ニコニコメッセージ

- ◎奈良傳賞受賞を祝って頂き感謝です。しかし、これは甲府クラブの全員が頂いたものです。新年度も頑張りましょう。(大澤英二)
- ◎大澤先生、奈良傳賞受賞おめでとうございます。役員の皆様、一年間お疲れさまでした。(小倉恵一)
- ◎大澤さん奈良傳賞おめでとうございます。ピーター会長、一年間ありがとうございました。本日誕生日祝いを頂き、ありがとう。(遠藤順彦)
- ◎最終例会に出席できて感謝です！来期も忙しい一年ですが、「5 分間でも出席！」目指して努力します！(金丸さぶろう)



6 月新旧役員会報告

2019 年 6 月 25 日 (火) 午後 6 時 30 分～8 時
場所：山梨 YMCA

出席者：マウントフォード・仙洞田・丹後・標・廣瀬・石川 (博)・渡辺・秋山・荒川

報告事項

- ① 6 月例会報告 6 月 11 日 (火)、ホテル談露館
出席者：メン 21 メネット 1 名 出席率 62%
メーキャップ 4 (石川 (和)、標、済本、山崎)
修正出席率 74% ニコニコボックス：7,134 円

② その他の報告

(1) 70 周年関連報告：仙洞田会員より 6/18、新クラブ設立準備会を開催した報告があった。

協議・確認事項

- ① 今年度事業報告の件
各事業報告の点検と確認を行った。
- ② 新年度事業計画の件
標次期会長より、方針、役員委員会構成、行事予定等の説明があった。
石川 (博) 70 周年記念事業実行委員長より、委員会組織の説明があった。
- ③ 7 月例会の件
7 月 9 日 (火) (担当：役員会)
定期総会、あずさ部長公式訪問がある。山梨 YMCA へ新館建設募金を贈呈する。
テーブルは 70 周年実行委員会ごとに配する。
今後の例会もそのようにする。
- ④ 台南クラブ来甲の件
7/17 アジア太平洋地域大会に併せて 6 名来甲する。宿泊と懇親会の手配済み。甲府駅へ露木総主事がマイクロバスで出迎える。(渡辺会員が同行)
- ⑤ 8 月納涼例会の件
担当の北条委員長が欠席のため、次回までにプランを提出する (第 2 火曜日が 13 日の盂蘭盆にあたるので別の日を設定する)。

議事録作成：書記 仙洞田安宏

- ◎大澤英二様、栄えある奈良傳賞おめでとうございます。山梨 YMCA とワイズへの永年のご奉仕、ありがとうございます。健康に留意され、まだまだ頑張ってください。(田草川すみ江)

第22回山梨YMCA インターナショナル チャリティーラン 2019

廣瀬 静男

第22回山梨YMCAインターナショナル・チャリティーラン2019が6月8日(土)に小瀬スポーツ公園の補助競技場で行われました。今年は開会時間が早くなったので甲府ワイズは6:45に集合、心配された天気もまざまざで一安心。山梨YMCAから持ち込んだ荷物を降ろし、すぐに会場の準備に取りかかりました。テントの設営、機の配置、走路の確認整備、弁当・飲み物の袋詰め、ラッフルの商品の準備等々短時間にすることがたくさんありましたが、大勢の皆さまの協力により準備は順調に進みました。いつも大変な写真撮影も誘導方法、誘導担当者等を事前に明確にしておいたのでスムーズに行われました。9:30より開会式、来賓の挨拶では樋口甲府市長から体調に注意し、楽しみましょうとの挨拶がありました。

恒例のリズム・オブ・ラブの渡辺さんによる元気のよい準備体操をみんなでした後、いよいよスタート。今年は51チームが参加、初めての参加チームもいくつかあり、大人から子供までみんな一生懸命に走り、汗を流し、楽しみました。今年は1位から5位までタイムを測定し、6位以降は順位だけを定めるようにしたため、大幅な時間の短縮になりました。

閉会式では大澤山梨YMCA理事長の挨拶がありました。表彰式、成績発表に続いて抽選会が行われましたが、景品が年々少なくなっているのが少し残念でした。大会終了後の片付けも大勢の人が参加し、予定より早く終わりました。3月から5回にわたる実行委員会を開催し、立派なマニュアルも作り、打ち合わせをしっかり行ったことの効果もあり大きな問題もなく無事に大会は終わりました。

反省会も6月13日に実施しました、来年はさらにスムーズに大会が実施されることを祈ります。多くのご支援をしてくださいました企業、関係者の皆さまに感謝します。



今月のワイズ用語

ASF(エーエスエフ)

ASF(エー・エス・エフ)は、アレキサンダー奨学資金(Alexander Scholarship Fund)の略称で、ワイズメン運動の創始者ポール・ウィリアム・アレキサンダーを記念して設置された奨学基金です。

YMCAで働くことを希望する学生、YMCAに在職しながら、より一層深い経験を得るために訓練を受けたいと希望する若手主事に対する財的援助を目的としています。

東日本区では日本YMCA同盟が実施する各種プログラム(主事養成のためのSTEP II 研修等)への支援、担当主事の区大会等への派遣費用の補助および国際ASF事業に対する支援等の基金として運用しています(「クラブ運営マニュアル」より)。

RBM (Roll Back Malaria

=ロールバックマラリア)

ワイズの認知度アップを願い始められた国際レベルの統一事業で、2010年から展開されている。

WHO(世界保健機構)によると2017年に世界で43万5千人がマラリアで死亡しています。RBMは1988年にWHO、UNICEF、UNDP(国連開発計画)、世界銀行等が始めた世界的規模のマラリア撲滅キャンペーンで、現在の正式名称は「マラリア終結のためのRBMパートナーシップ」となっています。ワイズメンズクラブ国際協会は、国際赤十字・赤新月社連盟と連携してマラリア蔓延国に殺虫剤が塗布された蚊帳を寄付すべく、募金活動(RBM献金)を行っています。今年度の東日本区のRBM献金達成目標は800円/人以上です。皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

なお、上記の蚊帳の見本は東日本区の各部にあり、歴代の主査で引き継がれていますので、部の評議会などの機会にご覧ください。また、YMIWorld 2018-2019 No.3(日本語版)の9頁と20頁にRBMの記事がありますので、ご覧ください。(理事通信1号より)

これからの行事予定

- 7月13日(土) あずさ部評議会(岡島ローヤル会館)
- 7月17日(水) 台南クラブとの懇親会(銀座八丁)
- 7月19日(金)-21日(日) アジア太平洋地域大会(仙台)
- 7月23日(火) 甲府ワイズ役員会(山梨YMCA)
- 8月19日(月) YMCAふくろうキャンプ訪問

ワイズメンの血液型(独断的分類)

仙洞田 安宏

ワイズに入って、自クラブ、他クラブのメンバーと交わりを深めて行くうちに、メンバーのタイプが何種類かに分類できることに気がつきました。人間の血液型ではありませんが、以下にご批判を承知の上で、大雑把に分類してみます。

Y型:YMCAのYですが、学Y・ハイY・リーダーなどのOBです。もう少し広げて“YMCAリング”、ボーイスカウトなども含めてもよいでしょう。この型の特徴は、自分をワイズの本流と自覚していることです。従って得意な分野は「YMCAサービス」。キャンプなどで培った経験から、自ら汗を流して働きます。どちらかというと小廻りの効く活動に適しています。バザー等では戦力になります。YMCAの尺度をワイズにも当てはめる傾向があります。

R・L型:RはRotary Club、LはLions Clubです。あるいはJC(青年会議所)OBなども含まれるでしょう。同じ国際奉仕団体という共通項を持っていますが、この型のほとんどは、ワイズへの入会の方が遅いと思います。従って、ロータリー、ライオンズとワイズの比較をしがちで、組織的な運営を重視します。得意分野は地域奉仕と会員増強・広報、それぞれのクラブで培った人脈を駆使して、大きな事業にも取り組みます。また、同様にワイズにもステータスを求める傾向があります。

C型:Christian(クリスチャン)のCです。文字通りキリスト教の信仰者や教会・ミッション系の学校等の関係者も含められます。この型の人も、ワイズの国際憲法にある、「イエス・キリストの教えに基づき」を拠り所に、本流を自負している傾向にあります。ただ、純粋のC型の多くは、一般的に出席率は良いものの、現状肯定というか、危険を冒さないどこか遠慮がちな面も見受けられます。

以上の三つの型を、複合的に包含している場合も多く見られます。例えば、RC型、YL型、YC型というふうに。一方、上記の3タイプに当てはまらない型もあります。

V型:Valley(谷)のVで、上記の各型の谷間にあるようなタイプです。本人はそうでなくても、配偶者や親がYMCAや教会に関係していたり、あるいはワイズ二世などもそうでしょう。取り巻きにYMCAやワイズ関係者がいることからワイズ理解も早く、クラブにも溶け込みやすく、積極性も見られます。数の上ではこの型が一番多いのではないのでしょうか。

W型:White(白)のWです。この型の特徴は、ワイズメンバーである友人・知人からの誘い(その多くは強引な)により、ほとんどワイズやYMCAの知識もないまま(白紙)に入会してしまったケースです。ゼロからの出発ですから、その後のフォロー次第では早い時期に退会してしまうケースも多く見受けられます。しかしその一方で間違えれば“はまる”ケースもあり、ワイズが生き甲斐と化す場合もあります。何の型にも染まっていないという強みから、既存の形式にとらわれない反面、時折、批判的な言動を発することがあります。Y型やC型のように“本流”ではないことや、R・L型のような他の奉仕団体の経験もないという一種の劣等意識もあります。

独断と偏見で分類を試みましたが、どの型が良いとか悪いとかではなく、ワイズはこのように多様な型を持った人たちの集まりだということが分かります。逆に言えば、これがワイズメンズクラブの特徴であり強みでもあるわけです。また、それぞれの型に嵌まったままでなく、常に進化するよう心がけたいものです。

※上記の文章は、10年程前にメモ的に書き留めてあったもので他意はありません。埋め草にしては長文になり、タイトルにあるように独断と偏見に満ちていることをお断りします。

山梨YMCAだより

6月の2大イベントが無事終了しました

総主事 露木 淳司

第22回山梨YMCAインターナショナル・チャリティーランが6月8日(土)、小瀬スポーツ公園の補助競技場にて開催されました。今年も奇跡的な晴天に恵まれて、ワイズメンの皆様の献身的なご奉仕を賜り、盛会のうちに幕を閉じました。ここに心より感謝申し上げます。13日(木)には反省会も行われ、早くも来年に向けてたくさんのご意見やアイデアを賜りました。ありがとうございました。

6月22日(土)には山梨YMCA現会館での最後の総会が開催されました。会員の皆様に多数お集まりいただき、2018年度の事業報告、会計報告、及び2019年度の事業計画・予算が承認されました。昨年度一年間で児童発達支援事業が大きく成長し、南西望みの家に加えて、田富恵みの家という拠点も与えられました。これにより従来の基幹事業である英語学校、野外活動、ぶどうの木、プライムタイムをすべて超えて、現在最も大きな予算規模を有する主要な事業となっています。この5本の柱に支えられて山梨YMCAの収入総額ははいよいよ1億円を

超えることとなり、2019年度の予算ではさらに5千万円の増額を見込んでいます。これは児童発達支援事業がこの4月から3拠点フル稼働になったことに加えて、プライムタイム(学童保育)の甲府市からの委託が1拠点追加されたことによるものです。

今後、新会館オープンと同時に小規模保育所や第2のぶどうの木が誕生します。さらなる急成長を続けるYMCAですが、同時に運営体制や設備、プログラムの質の整備も急がれます。引き続き皆様からのご協力ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

7月 Happy Birthday

メン	布能 寿英 (5日)
メネット	武田 道子 (2日) 内田 和俊 (4日)
パートナー	二子石千香 (9日) 露木 由美 (21日) 神山奈緒子 (24日)

7月 Wedding Anniversary

田中 克男 ♡ 千里 (21日)